

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、平年並み～やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の75%（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり33kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり37kgの水揚げで、前週の57%（前年を下回った）。
- 定置網――北松生月地区では、カマスなどが1日1統当たり462kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり74kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カマスなどが1日1統当たり39kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり48kgの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/31日～9/4日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（アカイカは北太平洋中央部付近で操業、スルメイカは佐渡周辺及び大和堆付近で操業）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 2日延2隻、総計26箱、1航海最高20箱、平均13箱、ケンサキイカを中心に漁獲、魚体は2立～4立主体。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>